

自然観察会報告
長島ダム周辺の自然観察会と資料館見学
高山達子



長島ダムふれあい館の見学

2016年10月2日（日）あいにくの小雨交じりの曇り空。雨が心配でしたが、長島ダム周辺での観察会がおこなわれました。まずは、集合場所の長島ダムふれあい館の見学。ダムの歴史や、ダムの構造などの展示があり周辺の四季折々の写真も飾られていました。

そしてコウモリ観察のため、近くの廃トンネルの中へ。懐中電灯を片手に、暗いトンネルの中へ恐る恐る入っていきます。バッド・ディテクターという機器で、コウモリの出す超音波を人の聞き取れる音（可聴音）に変換して、どの種がいるのか確かめながらトンネルを進みます。ここでは、キクガシラコウモリとコキクガシラコウモリが見られました。

昼食は見晴しのいい展望台へ移動してとりまします。晴れ間も見えてきて、周辺で鳥や植物、冬虫夏草などを捜し、休憩です。ここで、ヒル犠牲者が一人でした。

次は川根本町資料館やまびこの見学です。1階は林業や砂金についての展示。2階は動植物など自然についての展示です。植物の髄の形や、匂いなど面白い切り口での展示でとても有意義でした。

最後にもう一ヶ所の廃トンネルの観察。ここでは、かなり多くの数のコウモリが見られました。先の2種の外モモジロコウモリも見ることが出来ました。キクガシラに比べて、コキクガシラは小さいのが良くわかります。そして、コキクガシラが一番良く寝ているよ



コキクガシラコウモリ



川根本町資料館やまびこの見学

うで、いくら懐中電灯を照らしても、動じず、じっとしています。それに比べて、モモジロコウモリはちょっと光が当たただけで1匹が飛び出すと、集団で固まっているためか、全部が飛び出してしまいます。キクガシラは個体差が大きいのか、いろいろでしたが、1匹手の届くところで良く寝ていて、お腹を撫でてでも起きる気配がない個体がいまいました。帰りも同じところで寝ていたので、もう一度お腹を撫でてお別れしてきました。コウモリに触れるとは思ってもいなかったので、とても嬉しかったです。

帰路の車の中、とんでもないお土産がついている事が判明、2人目のヒルの犠牲者は私でした。後日、4人中3人がヒルの犠牲者となったことが判りました。長島ダム方面に出かける時には足元等しっかり装備して、ヒルに備える必要があるようです。